

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 8 月 19 日 (2021.8.19)

【公開番号】特開 2019-217135 (P2019-217135A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-052
 【出願番号】特願 2018-118604 (P2018-118604)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 9 日 (2021.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

制御手段と、前記制御手段の制御に用いられる電子部品からの入力信号に基づく入力データを前記制御手段に伝送する入力回路と、前記制御手段から伝送された出力データに基づいて電子部品に対して出力信号を出力する出力回路と、が実装されるとともに、第 1 面と第 2 面に配線パターンが形成された基板を備え、

前記入力回路及び前記出力回路に、型式を示す文字情報が記載されており、

前記入力回路と前記出力回路とは、前記文字情報の向きが異なるように、前記基板に実装され、

前記配線パターンは、前記入力回路からの入力データの前記制御手段への伝送及び前記制御手段からの出力データの前記出力回路への伝送に共用されるデータバスを含み、

前記出力回路は、前記制御手段から伝送された出力データに基づいて遊技の進行に応じた可動部の動作を行う第 1 電子部品に対して出力信号を出力する第 1 出力回路と、前記制御手段から伝送された出力データに基づいて遊技の進行に応じた表示を行う第 2 電子部品に対して出力信号を出力する第 2 出力回路と、を含み、

前記第 2 出力回路は、前記第 1 出力回路よりも前記制御手段までの配線パターンが短くなるように前記データバスに接続され、

前記第 1 面に形成される配線パターンは、第 1 方向に延びる配線パターンの割合が前記第 1 方向と異なる第 2 方向に延びる配線パターンの割合よりも多く、

前記第 2 面に形成される配線パターンは、前記第 2 方向に延びる配線パターンの割合が前記第 1 方向に延びる配線パターンの割合よりも多い、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段１の遊技機は、
遊技が可能な遊技機であって、

制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）と、前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）の制御に用いられる電子部品（入力部品）からの入力信号に基づく入力データを前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）に伝送する入力回路と、前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）から伝送された出力データに基づいて電子部品（出力部品）に対して出力信号を出力する出力回路と、が実装されるとともに、第１面と第２面に配線パターンが形成された基板（遊技制御基板）を備え、

前記入力回路及び前記出力回路に、型式を示す文字情報が記載されており、

前記入力回路と前記出力回路とは、前記文字情報の向きが異なるように、前記基板に実装され、

前記配線パターンは、前記入力回路からの入力データの前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）への伝送及び前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）からの出力データの前記出力回路への伝送に共用されるデータバスを含み、

前記出力回路は、前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）から伝送された出力データに基づいて遊技の進行に応じた可動部の動作を行う第１電子部品（第１出力部品）に対して出力信号を出力する第１出力回路（第１出力回路）と、前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）から伝送された出力データに基づいて遊技の進行に応じた表示を行う第２電子部品（第２出力部品）に対して出力信号を出力する第２出力回路（第２出力回路）と、を含み、

前記第２出力回路（第２出力回路）は、前記第１出力回路（第１出力回路）よりも前記制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ）までの配線パターンが短くなるように前記データバスに接続され、

前記第１面に形成される配線パターンは、第１方向に延びる配線パターンの割合が前記第１方向と異なる第２方向に延びる配線パターンの割合よりも多く、

前記第２面に形成される配線パターンは、前記第２方向に延びる配線パターンの割合が前記第１方向に延びる配線パターンの割合よりも多い、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技の進行に応じた表示を行う第２電子部品に対して出力信号を出力する第２出力回路が、遊技の進行に応じた可動部の動作を行う第１電子部品に対して出力信号を出力する第１出力回路よりも制御手段までの配線パターンが短くなるようにデータバスに接続されるので、出力データがノイズ等の影響を受けることで遊技の進行に応じた表示に影響を与えてしまうことを防止できる。